



岩 手 大 学
DX of Education

DX.E

教育実践学 × 情報学分野
高度専門人材養成プログラム

Message



高度な教育実践力と MDA素養を備えた 教員を養成します

岩手大学大学院教育学研究科長

柴垣 登

現在、平成29年版学習指導要領改訂の審議が進められ、「主体的・対話的で深い学び」の実装、児童生徒の情報活用能力の抜本的向上、そのための教育内容の充実や条件整備等、様々な議論が行われております。これからの時代の教育には、MDAの基礎的な知識と技能を備え、AIやビッグデータを活用した教育活動や学校経営、さらには教育行政の立場からも取組を推進できる人材が求められています。このような背景の下、岩手大学教職大学院では、「DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野 高度専門人材養成プログラム」を令和8年から本格的に開始いたします。

本プログラムは、教育実践におけるDXなど現代的な課題や、個々の児童生徒の教育的ニーズに応えるために、教育実践学と情報学を融合させた高度な専門的知識と指導力を備えた学校教員の養成を目的としています。その実現に向け、これまで培ってきた教育現場の課題解決に資する実践的なフィールド研究を基盤とし、MDA科目の新設や既存科目の改変を行い、PBL（課題解決型学習）を取り入れた授業で実践力を育成します。実施にあたっては、岩手県教育委員会等との連携を一層強化するとともに、岩手日報社やNTT東日本等の企業と協働し、最新の知見を活用した教育内容の構築を進めてまいります。

岩手大学教職大学院の新たな取組へのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



DX.Eプログラムでの 学びで期待すること

岩手県教育委員会教育長

佐藤 一男

岩手県では、岩手大学教職大学院で研鑽を積んだ多くの修了生が学びを実践へとつなげ、学校現場の教職員や管理職、教育委員会の行政職として活躍しており、その数々の実践は、変化の激しい教育現場を支える確かな土台となっています。

令和8年度から新たに始まる「DX of Education[DX.E]教育実践学×情報学分野高度専門人材養成プログラム」は、従前のカリキュラムにMDA教育科目群を加え、物事を数理的に捉え、データから洞察し、AIと協働して価値を生む力の育成を目指すものと伺っております。

岩手県では、岩手子どもたちが、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成するため、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図りながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善やカリキュラム・マネジメントを推進しています。また、「学びの改革プロジェクト」により、岩手県、各市町村が連携しながらICTを効果的に活用した授業づくりや、校務の標準化、STEAMの視点による探究的な学びの深化を進めるとともに、AIや教育データの利活用などにも取り組むこととしております。本プログラムで得られた高度な知見と実践力を備えた教職員等が牽引役となり、授業改善、業務改革と学校経営の高度化が進展し、岩手の教育の充実につながっていくことを期待しています。

岩手県教育委員会といたしましても、引き続き、岩手大学教職大学院と連携・協働しながら、新たな時代の岩手の教育を担う人材の育成に取り組んでまいります。

DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野 高度専門人材養成プログラム

文部科学省補助事業『令和6年度大学教育再生戦略推進費「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業～Xプログラム～」』に採択され、岩手大学大学院教育学研究科（教職大学院）で構築したプログラム。本プログラムでは、MDAの基礎的知識と技能を備え、人工知能やビッグデータを活用した「令和の日本型学校教育」を構築できる教員の養成を目指します。

岩手大学大学院教育学研究科〔教職大学院〕 プログラム全体構想

学校マネジメント力開発・DX.Eプログラム／授業力開発・DX.Eプログラム／特別支援教育力開発・DX.Eプログラム
教育実践学×情報学の融合 高度化

専攻共通科目

教育の基本的な5領域

1. 教育課程の編成・実施に関する領域
 2. 教科等の実践的な指導方法に関する領域
 3. 生徒指導、教育相談に関する領域
 4. 学校経営、学級経営に関する領域
 5. 学校教育と教員の在り方に関する領域
- 全20単位内4科目6単位



データサイエンスの基礎を演習で身に付ける



人流ビッグデータを地域創生教育として活用する



AIの活用について演習を通して考える



DXワークショップを活用し学校DXを考える



ICTを活用した授業力の高度化を図る



教育データを活用して学習指導と評価の高度化を図る

プログラム共通科目〔MDA教育科目群〕 岩大アラカルト方式 個別最適化

自分に必要な科目、もっと深めたい知識や伸ばしたい技能、足りない知識や技能を補いたい院生の個別ニーズに応える科目群

● 全8科目10単位

- 学校における情報セキュリティ
- 教科等指導におけるデジタルアーカイブ活用 他

事業推進・共同開発

- 岩手県教育委員会
- 岩手県立総合教育センター
- 岩手県警察
- 盛岡市教育委員会
- NTTドコモ
- NTTドコモビジネス
- NTTドコモビジネスソリューションズ
- NTT東日本
- 岩手日報社
- LINEみらい財団
- 教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会 他

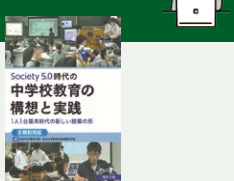
外部有識者からの助言・評価体制

- 兵庫教育大学
- 信州大学
- 岩手県教育委員会
- 盛岡市教育委員会
- キオクシア岩手

確かな外部連携実績

いわて学びの改革研究事業

- 岩手大学が研究主幹となり、岩手県教育委員会、岩手県立大学の指導者約50名を総理
- 成果を書籍にまとめ広く還元、学生用教科書としても活用
- 岩手日報社と共同し、小学生選抜プログラミングコンテスト〔岩大モデル〕を開催



基礎的取組

MDASH〔応用基礎レベル〕

- 令和5年度教育学部スタート
- 令和6年度理工学部・農学部・人文社会科学部スタート
- 令和7年度入学生より理工学部・農学部必修化（令和7年度入学生の63%以上が習得）



教育学部

MDASH応用基礎レベル、
高等学校情報免許科目群の展開・強化



MDASH応用基礎レベルの必修化
（情報教育学サブコース）



高等学校教諭一種
免許状（情報）の取得



オープンバッジ
の授与

アウトプット

- 高度な教育実践力×情報学の素養（知識・技能、マインド）を備えた人材の養成・輩出
- DXを通して予測不能なVUCA時代を切り拓き、力強い変革力を備えたレジリエントな人材の養成・輩出
- 他大学へknow-how提供

アウトカム

- ICTをフルに活用し個別最適・協働的な学びを通して、未来を切り拓く児童生徒を育成
- 学校におけるDX化の推進による教員の働き方改革の実現
- MDA、DXの知識・技能等を活用した質の高い教育行政サービスと支援の提供

実現される近未来社会

- 令和の日本型学校教育
- 社会全体のウェルビーイング
- 人口減でも体幹の強い国日本





DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野 高度専門人材養成プログラムに込めた 願いと期待

岩手大学副学長 [情報統括・データサイエンス教育担当]

宮川 洋一

現在、世界的にデジタル化が急速に進展する中、MDAの基礎的知識と技能を備え、AIやビッグデータを活用した「令和の日本型学校教育」を構築できる学校教員が求められております。しかし、日本の学校教員は、いわゆる定型カリキュラムを具現化する能力については世界トップクラスであると言われている一方で、急速に進展するデジタル化の流れを自らに取り込むことについては、やや保守的な面があるのも事実です。また、急速に進展するデジタル化の流れは学校内のみで対応することは難しく、地域・企業・行政等との産学官連携により推進していくことが必要不可欠となります。

そこで、本事業では、これまでに岩手県教育委員会や企業との共同研究実績を有する教育学部、特に教職大学院において、「教育実践学と情報学を融合させる教育プログラム」を行政・企業と共同開発・実践し、高度な教育実践力とMDA素養（知識・技能、マインド）を備えた学校教員の養成を行います。また、DXを活用してこれまでにはない新しい発想で学校・教育行政を変革する高度専門人材の育成を図り、これからの岩手の学校教育の充実、さらなる発展に努めて参ります。

DX of Education [DX.E] 教育実践学×情報学分野高度専門人材養成プログラム 開講科目・履修特典

専攻共通科目

- 特色あるカリキュラムづくりの理論と実際
- 学習指導要領とカリキュラム開発
- ICTを活用した授業づくりの理論と実践
- 教育データ利活用による教科指導と評価
- 教育データサイエンス実践演習
- 心理教育的援助サービスの理論と実践
- 通常学級における特別支援教育の実践と課題
- 学校経営・学級経営の実践と課題
- いわての復興教育の実践と課題
- 学校におけるAI活用とDX実践演習
- 専門職としての教員の在り方とその力量形成

プログラム共通科目 [MDA教育科目群]

- 教育のデータリテラシー
- データサイエンスを活用した教育実践研究基礎論
- 情報通信技術を活用した小規模学校教育
- 教育行政におけるデータベース活用
- 教科等指導におけるデジタルアーカイブス活用
- 学校教育と情報倫理・情報モラル教育
- 学校における情報セキュリティ
- プログラミング教育の実践と課題

修了証書の授与

岩手大学大学院教育学研究科独自の
修了証書が授与されます

専修免許状への記載

本プログラム関連科目を12単位以上
履修した場合、専修免許状に
「情報教育」と記載されます

オープンバッジの授与

本プログラム関連科目を
すべて履修した場合、
オープンバッジが授与されます



岩手大学 教育学研究科
教職実践専攻〔教職大学院〕
Graduate School of Education, IWATE UNIVERSITY

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
TEL 019-621-6840 FAX 019-621-6841

